

平塚市長選挙 選挙公報

令和5年4月23日執行

平塚市選挙管理委員会

市民が誇りを持てる平塚市へ

平塚再建計画 2023.4 始動

子ども虐待予防の全国モデル都市へ

- 市民一人一人の意識改革を
- 行政システム「平塚親」導入を検討

龍城ヶ丘プール跡地を始めとする 海岸地域整備計画は、見直し

- 地域住民の意見を尊重
- 環境を保全

神奈川大学跡地活用で、 平塚市北西部から賑わいを

- ◎高齢者や障がいのある方などに優しい平塚に
・介護従事者・保育士等の待遇改善
・「配食サービス」や「みんなの食堂」「子ども食堂」を充実
- ◎日本一のトイレ整備都市平塚へ
= 世界一のトイレ整備都市平塚へ
- ◎平塚駅にホームドアを設置
- ◎美味しい中学校給食を2024年9月から開始

中心商店街に再び活気を！

- 未来につなぐ為の長期的な計画を策定
- 公共施設の駐車場無料化を検討
- 利用しやすい自転車置き場を設置

自治会・老人会など地域団体 との協働を、強力に推進

～日本の中心で「平塚愛」を叫ぶ～

谷容子 プロフィール

1981年 世田谷区立船橋中学校卒
1984年 東京都立青山高等学校卒
1988年 国立お茶の水女子大学卒
竹中工務店入社
1992年 平塚に住む
2011年 平塚市青少年問題協議会委員
2013年 平塚市市民活動推進委員会委員

(現在)
中学校給食を実現する会 会長 (14年)
平塚湘南ライオンズクラブ 会長
平塚駅ホームドア設置協議会 代表
(家族)
夫・長男
(趣味)
詩吟 (6段) コーラス 温泉浴



谷容子 平塚 検索

<https://www.taniyoko.com/>



谷容子
たに
よう
こ



さらに、その先へ ずっと、選ばれるまち、住み続けるまちに。

まちづくり
駅周辺地区の将来構想を来年度策定し実施可能な支援策は前倒しして進めます。ベルマーレが主体となった民間主導の専用スタジアム構想を応援します。すべての市民が海に親しめる浜辺の総合公園を、龍城ヶ丘に整備します。神大跡地の望ましい利活用が鍵となる土屋地区や、農をテーマとした吉沢地区の活性化、ツインシティ道路網に直結する城島地区の将来構想づくりに取り組めます。

産業・環境
デジタル技術を活用し、農業に加え、教育・保育・介護など産業のスマート化(省力・高度化)を深めます。キャッシュレス決済を広め、市内でお金が回る仕組みづくりを加速します。2050年ゼロカーボンシティ平塚を推進します。波力発電の取組を継続し、バスやごみ収集車にEV車を導入します。

福祉・暮らし
これからの地域共生社会のモデルとなる医療・福祉の拠点を高村地区に整備します。ヤングケアラーなどを早期発見・支援できるように、地域福祉を充実させます。口腔フレイル予防など、高齢者の支援メニューを拡充し、健康寿命を延ばします。ごみ出しの負担が少ない戸別収集のエリアを広げます。

子育て
小児医療費の助成を高校生まで拡大します。産後パパ育児を広め、もう一人子どもがほしい家族を支援します。おむつのサブスク(定額制)を支援し、手ぶら保育を進めます。来年9月、すべての中学校で温かい完全給食を始めます。

これからも、平塚とともに～昭和32年生まれ。神田小、神田中、平塚江南高、明治大卒。平塚市役所に22年間勤務。小・中PTA会長など地域活動にも取り組む。平成15年、平塚市議会議員にトップ当選、同19年に市議会議員に再選、議長就任。平成23年「動かせ、平塚。」で平塚市長に当選、同27年「選ばれるまち、住み続けるまちへ。」で再選、同31年「たしかな平塚を。」で3選。令和5年4月、4期目に挑戦。



おちあひ
落合あつひろ
65歳

人口は8年連続で転入超過。市民意識調査では住み続けたいという前向きな回答が約9割。ツインシティ大神地区がまちびらき。駅周辺ではマンション建設ラッシュ…。これまで種をまいてきた数多くの施策が芽を出し、花を咲かせ、実を結び始めています。その果実を市民の暮らしに還元するとともに、持続可能なまちづくりを根付かせるため、新しい種をまき続けます。

投票日
4月23日(日)

投票時間
午前7時から午後8時まで